

「製造業安全対策に関するトップ会談」の開催について

平成29年9月
製造業安全対策官民協議会

1. 目的

鉄鋼・化学・製紙の3つの異業種トップによる意見交換の場を公開形式で設定し、「製造業安全対策官民協議会」の設立目的のひとつである経営層の参加による安全対策の必要性や実施状況等について検討を行い、その更なる強化を図る。

2. 主催

製造業安全対策官民協議会

3. 日時

平成29年9月28日（木） 13:30～15:30

4. 場所

経済産業省本館地下2階講堂（300名程度収容）

5. 構成

(1) 挨拶（10分）

厚生労働省及び経済産業省の政務クラス（調整中）

(2) 基調講演（20分）

石村 和彦 旭硝子（株）代表取締役会長

「安全なくして生産なし」

(3) 経営者層による会談（1時間15分）

①メンバー（順不同）

進藤 孝生 日本鉄鋼連盟会長（新日鐵住金株代表取締役社長）

石飛 修 日本化学工業協会会長（住友化学株代表取締役会長）

鈴木 邦夫 日本製紙連合会副会長（三菱製紙株代表取締役社長）

石村 和彦 旭硝子（株）代表取締役会長

八牧 暢行 中央労働災害防止協会理事長

向殿 政男 明治大学名誉教授（司会）

②テーマ

経営層に期待される役割と対応（現状認識と今後の取組み）

③進行

【セッション1】製造現場の環境変化（35分）

- ・ 討議
 - 基調講演に対する質問・コメント及び応答（2名×1分）（鉄・紙）
 - 製造現場での環境変化についての認識の紹介（3名×3分）
 - 環境変化に関する質問・コメント及び応答（3名×2問×1分）
 - 専門的立場からのコメント（中災防；製造現場での環境変化について）（3分）
- ・ 「環境変化に対する経営層の認識」の視点で取りまとめ（5分）
 - （ア）製造現場での環境変化についての認識
 - （例：ベテラン不足・労働者の属性の多様化、アウトソーシングの進展、生産自動化・電子化、設備経年劣化の進行、少子化等による影響）

【セッション2】経営理念と安全対策（40分）

- ・ 化学、鉄鋼、製紙（3名×5分）
 - 経営理念と安全対策
 - 経営層のリーダーシップとボトムアップの融合
- ・ 討議
 - 3団体に対する質問・コメント及び応答（3名×3問×1分）
 - 専門的立場からのコメント（中災防；現状の評価、今後への期待、中災防の活動抱負）（5分）
- ・ 「経営理念と安全対策」の視点で取りまとめ（5分）
 - （ア）経営環境の変化に対応したリーダーシップとボトムアップ
 - （イ）持続的な取組みと技術革新（IoTなど）を活かした新たな取組み
 - （ウ）人材育成と安全教育
 - （エ）未来への先行投資としての安全投資
 - （オ）リスクに応じた安全対策

（4）とりまとめ及び閉会（10分）

- ・ 討議を踏まえた全体とりまとめ（向殿先生）
- ・ 協議会会長より閉会の挨拶（寺畑雅史 JFE スチール株式会社専務執行役員）